

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 1 月 27 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 1 月 4 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ニューヨーク州立大学ニューパルツ校(日本語名) The State University of New York at New Paltz(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2024 年 8 月～2024 年 12 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月中旬～5 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	6000
創立年	1828

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (US\$) (1 現地通貨 = 155 円)	B 日本円	備考
授業料		0 円	交換留学のため、明治大学の学費のみ
宿舍費	5500\$	円	
食費	2550\$	円	ミールプラン+メールエクスチェンジ+構内で利用できる 400\$のダイニングダラー
図書費	200\$	円	
学用品費	70\$	円	
携帯・インターネット費		40000 円	
現地交通費		0 円	大学内のキャンパス居住(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	200\$	円	
旅費(留学中)		200000 円	トロント 2 泊 3 日、フロリダ 2 泊 3 日
被服費	200\$	円	
医療費	0\$	円	
保険費	1200\$	80000 円	形態: 留学生が必ず加入する留学先大学の保険+明治大学で必須の保険
渡航旅費		200000 円	
ビザ申請費		60000 円	
雑費	2000\$	円	
その他	500\$	円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	12420 \$ (=1925100 円)	580000 円	
総計(A+B) ※円		2505100 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：JFK 空港 経由地：インチョン空港

復路 出発地：サンフランシスコ国際空港 目的地：羽田空港 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：アジアナ航空 料金：130000 円

復路 航空会社：JAL 料金：100000 円 ∴合計：230000 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：skyscanner)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：Ashokan Hall) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数ベッドルームは2人で共有、部屋全体は6人で共有)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

留学先大学のポータルサイト

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Ashokan は比較的綺麗で、ダイニングホールからも近くて便利だった。ルームメイトにはきちんと自分の意見を言う方が良いと思う。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: クレジットカードの不正利用。留学時に加入した保険会社に相談。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在ニューヨーク日本大使館からのメールで情報を収集した。夜は 1 人で行動しないことを徹底した。ペッパーズプレーを携帯している人もいた。特に犯罪には巻き込まれていない。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校内ではどこでも Wi-Fi が利用でき、接続も問題なかった。ソフトバンクのアメリカ放題(日本の番号がそのまま使える、データ無制限)を利用しており、学校外でのインターネット接続はそれで問題なかったが、アメリカの電話番号を取得するため、追加で Tello Mobile に加入した。電話番号を利用するだけの 1 番安いプランを選んで、毎月 5 ドルで利用できた。他の留学生はアメリカの番号だけで生活している人もいたが、トラブルが起きて日本に連絡する際は日本の番号も使えた方が安心。私の場合はクレジットカードの不正利用の際にカード会社に連絡を取る際に利用した。そのため、必須ではないが個人的にはどちらの番号もあるとより良いと思う。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座(Bank of America)を開設し、持参した現金を入れた。その口座のデビットカードとクレジットカードを利用していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

基本的に現地調達が可能だが、値段が数倍になるので頻繁に使うものは持参する方が良い。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に指定したクレジットカードで支払った。4 回払い(手数料なし)も可能。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Asian Americans	アジア系アメリカ人
科目設置学部・研究科	Asian American Studies
履修期間	2024 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Nathen Clerici
授業内容	アジア系アメリカ人がマイノリティとしてアメリカに住むうえで受ける差別や課題について。
試験・課題等	Take home のテストが 1 回、4 人程度で行うグループプレゼンテーションが 2 回。
感想を自由記入	アジア系としてアメリカに生きる上での問題点を知れて良かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Women's, Gender, and Sexuality Studies		女性・ジェンダー・セクシュアリティ入門
科目設置学部・研究科	Women's, Gender & Sexuality Studies	
履修期間	2024 秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	前半 50 分が講義、後半 50 分がディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 100 分が 2 回	
担当教授	Heather Hewett	
授業内容	基本的なフェミニズムと、性的マイノリティの権利について。	
試験・課題等	レポートが 3 回、プレゼンテーションが 1 回。	
感想を自由記入	日本のジェンダー系の授業と比べると、すごく具体的で踏み込んだ内容だった。性的マイノリティの権利について考えるために履修したが、アメリカのフェミニズムの基礎をかなりしっかり学ぶことが出来て非常に有益だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Elementary Kiswahili		スワヒリ語初級
科目設置学部・研究科	Languages, Literatures & Cultures	
履修期間	2024 秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Zeverin Emagalit	
授業内容	スワヒリ語の文法、初級フレーズ	
試験・課題等	対面の試験が 2 度。小テストも 2 週に 1 回ほど。	
感想を自由記入	少人数のクラスだったためとても仲良くなれた。スワヒリ語は母音と子音が交互に来る言葉が多い言語なので、日本人にとっては読みやすいし発音しやすいと思う。ただ、英語を使ってスワヒリ語を学び、頭の中では日本語を使用しているので、時々頭が混乱した。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Sociology		社会学入門
科目設置学部・研究科	Social Sciences	
履修期間	2024 秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Andrew Horvitz	
授業内容	アメリカの社会学の基礎。	
試験・課題等	週に 1 回の小テストと、学期に 3 回の定期試験。すべてオンライン。	
感想を自由記入	主に人種ベースの問題を扱うことが多く、アメリカ社会においてどれだけ人種が大きな要素なのかがわかった。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中にポスthonキャリアフォーラムに赴き、そこで内定をもらっている日本人学生もいた。ただ、そこで内定をもらえるのは多くの場合留學生活の多くの時間を就活に費やした人のみで、その人はもっと留學生活自体を楽しめばよかったと言っていたので、就職活動との両立は可能ではあるが簡単ではないように思った。まわりの 3 年生の留學生はみんなスーツを持ってきてオンラインで面接を受けていた。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留學希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留學希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	TOEFL 受験
	10 月 ～ 12 月	選考
留学開始年	1 月 ～ 3 月	留学先大学に出願
	4 月 ～ 7 月	ビザ申請、予防接種
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	中間試験、期末試験
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	帰国
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

昔からアメリカに留学したいと切望しており、その中でも高いレベルの大学で学びたいと考えたため、自分の資格試験のスコアで出願できる 1 番高いレベルだった SUNY New Paltz に留学を決めた。留学生生活全般は基本的に大きな問題はなく過ごせた。常々感じていたのは、良くも悪くも「日本人」として扱われることだ。現地大学には、日本語を学んでいる人や日本のアニメが好きな人が多く、日本人というだけで仲良くなろうとしてくれる人がたくさんいた。そういった人たちはある意味こちらの国籍しか見ていないわけで、本当に仲の良い友達になれるかどうかは別だが、そういった人たちとどんどん話して交友関係を広げていけたのはとてもありがたかった。一方、アジア人として居心地が悪い時はあった。あからさまに攻撃されることはなかったが、たとえば現地の白人のアメリカ人と一緒にどこかに行った時のスタッフの対応が、自分 1 人で行った時とは比べ物にならないくらい親切だったことがあり、サービスの質という点で時々差別されていたように思う。とはいえ、ほとんどの人はとても親切だったし、私の拙い英語を聞き取ろうと頑張ってくれた。差別されるかもしれない、という覚悟は持っておいた方が良いが、そこまで怖がる必要はないと思う。